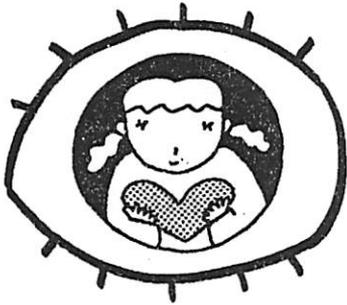


10月10日は目の愛護デー

人は外からの情報を得るとき、**80%**を目に頼っています。

目を大切にしましょう。



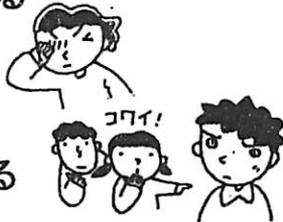
目は心の窓



目からのSOSサインのチェック!

ものを見るとき、下記のようにしていませんか?

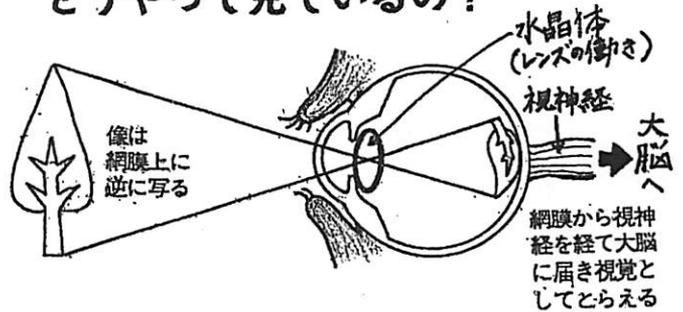
- 目を細めて見る
- 斜めに(横目で)見る
- テレビや本を近くで見る
- 片方の目を閉じて見る
- まぶしい
- 上目づかいをする
- あごを上げて前を見る



☆上記のようにして見ることが多い、見えにくくなったという場合は、目の疲れや視力の低下などのサインです。

気になる人は、視力検査をしますので放課後などを利用して、保健室に来てください。

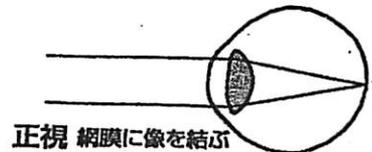
どうやって見ているの?



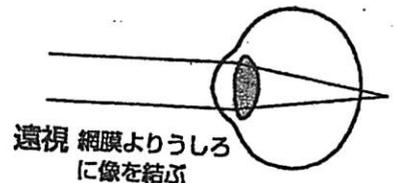
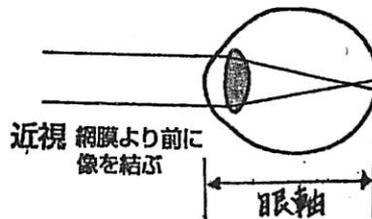
正視、近視、遠視とは?

目を休めて遠くを見たとき、どこに像を結ぶのか(ピントが合うのか)で判断します。

網膜に像を結べば『正視』、網膜より前に像を結べば『近視』、網膜より後ろに像を結べば『遠視』といいます。

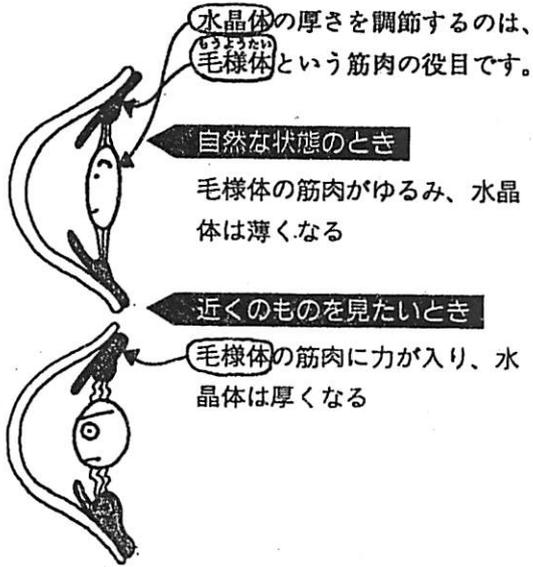
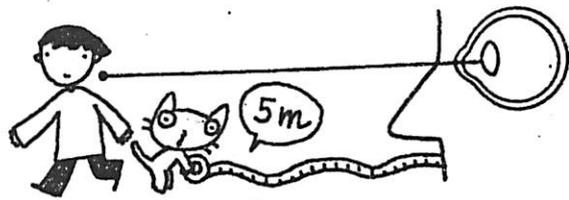


近視、遠視は、眼軸の長さの違いやピント調節力の違いのために起ります。



いろいろなものにピントを合わせて見るしくみ

人間の目は、特に何かを見ようとしていない自然な状態のときは、5m以上離れたところにピントが合うようにできています。それよりも近いところを見るときには、水晶体(レンズ)の厚さを調節して見たいものにピントを合わせます。



水晶体の厚さを調節するのは、毛様体という筋肉の役目です。

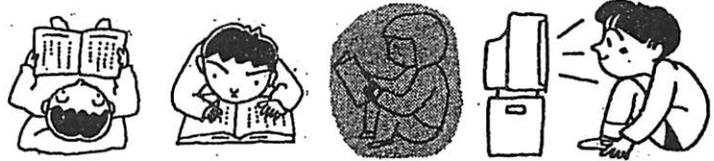
自然な状態のとき

毛様体の筋肉がゆるみ、水晶体は薄くなる

近くのものを見たいとき

毛様体の筋肉に力が入り、水晶体は厚くなる

近くのものを見る状況(テレビ視聴やゲーム、寝ころんでの読書、暗いところでの勉強など)が



長く続くと毛様体の筋肉が疲労し、ピントを合わせる働きが悪くなります。そのため、次第に視力が悪くなってしまいます。



目(毛様体の筋肉)をつかれさせない生活をしましょう

目をつかれさせない方法

- ① 目と机(本、ノート)の間を30cm以上はなす。

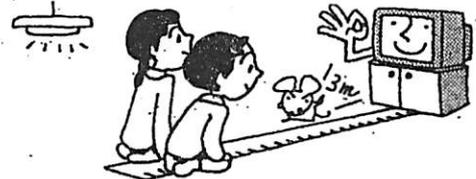


- ② 明るい部屋ですごす。



- ③ こい(B,2Bなど) エンピツをつかう。

- ④ テレビから3mくらいはなれてみる。ゲームは長時間つづけてやらない。



- ⑤ かみが目にかからないようにする。



目にゴミやウイルスが入る原因になります。

目のつかれをとる方法



遠くの空や景色をみる

冷たいタオルかぬいタオルをまぶたにのせる

眠る

目にいい食べもの

ビタミンA	ビタミンB ₁
<p>★ビタミンAを多く含む食品</p> <p>緑黄色野菜</p> <p>レバー、人参、パセリ、ほうろく、かぼちゃ、ピーマン、ピーチ、ブロッコリー、トマト、パセリ、豆</p>	<p>★ビタミンB₁を多く含む食品</p> <p>豚肉、鶏肉、魚、大豆、小麦胚芽、玄米、そば、そば麦、そば粉、そば油、そば茶、そば餅、そば打ち、そば打ち機、そば打ち機、そば打ち機</p>

暗い所での視力を守る

目の神経の働きをよくする